

2013年3月期 第1四半期 連結決算ハイライト

中期経営計画“S-Project”最終年度の第1四半期は、堅調な滑り出し

売上高	2,430 億円	+1.7%	微増
営業利益	46 億円	△3.1%	微減
経常利益	41 億円	+7.5%	増益
当期純利益	24 億円	△10.0%	減益

損益の状況

(単位:億円)	2012/3期 第1四半期実績		2013/3期 第1四半期実績		前年同期比		2013/3期 通期	
	増減額	増減率	見通し	進捗率	増減額	増減率	見通し	進捗率
売上高	2,390	2,430	40	1.7%	10,500	23.1%		
売上総利益	192	195	3	1.7%	-	-		
販売費・一般管理費	144	149	5	3.2%	-	-		
営業利益	48	46	△1	△3.1%	200	23.0%		
受取配当金	2	2	△0	-	-	-		
利息収支	△9	△8	1	-	-	-		
持分法損益	△1	△0	1	-	-	-		
為替差損益	1	1	0	-	-	-		
その他	△2	0	2	-	-	-		
営業外収支	△9	△5	4	-	-	-		
経常利益	38	41	3	7.5%	160	25.8%		
特別利益	1	2	2	-	-	-		
特別損失	△1	△4	△2	-	-	-		
税引前当期純利益	38	40	2	6.2%	-	-		
法人税等及び少数株主利益	11	16	5	-	-	-		
当期純利益	27	24	△3	△10.0%	80	30.1%		

【売上高】
電子セグメントの半導体部品・製造装置事業の回復や、環境・素材セグメントのエネルギー事業での取扱量増加などにより、全体では微増。

【営業利益】
食品・食糧セグメントの畜産事業、食糧事業の低調や、鉄鋼セグメントの鉄鉱石取引の減少等を主要因として全体では微減。

【経常利益】
支払利息の減少や持分法による投資損失の改善等により、増益。

【当期純利益】
税金費用の増加などにより、減益。

資産・負債及び純資産の状況

(単位:億円)	2012/3末		2012/6末		2012/3末比	
	増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率
総資産	3,998	3,726	△272	-6.8%		
グロス有利子負債	1,608	1,513	△95	-5.9%		
ネット有利子負債	900	831	△69	-7.6%		
株主資本	698	723	25	3.5%		
(内、利益剰余金)	150	174	24	16.1%		
その他の包括利益累計額	△308	△318	△10	-		
少数株主持分	170	171	1	0.4%		
純資産合計	560	575	15	2.7%		
自己資本(注1)	390	405	15	3.8%		
自己資本比率(注2)	9.8%	10.9%	1.1pt良化	-		
ネットDER(注3)	2.3倍	2.1倍	0.2pt良化	-		

【総資産】
受取手形及び売掛金の減少などにより272億円減少。

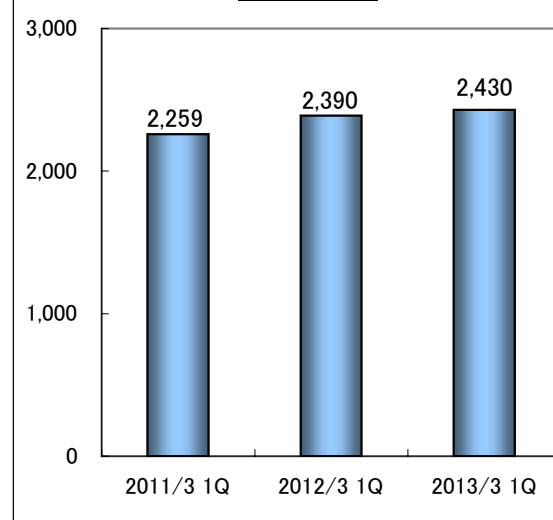
【有利子負債】
グロス有利子負債は95億円の減少。ネット有利子負債も69億円減少。

【純資産】
四半期純利益による利益剰余金の積み上げ等により株主資本が増加した一方、その他の包括利益累計額の減少により、純資産は15億円増加。純資産から少数株主持分を除いた自己資本は、15億円増加。

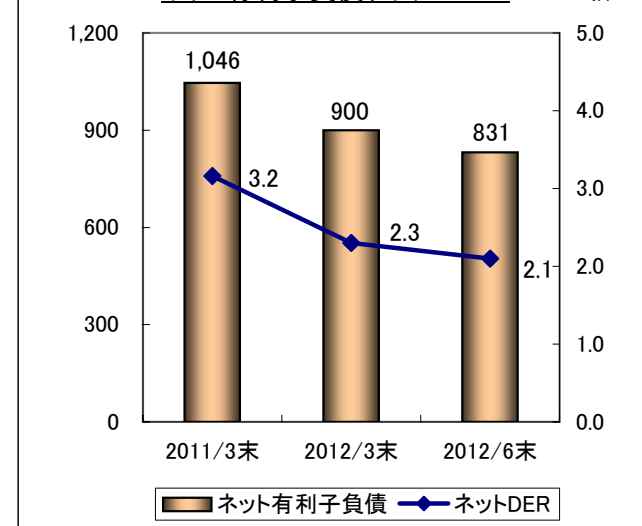
上記の結果、自己資本比率は10.9%、ネットDERは2.1倍に改善。

(注1)自己資本=純資産-少数株主持分 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産 (注3)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

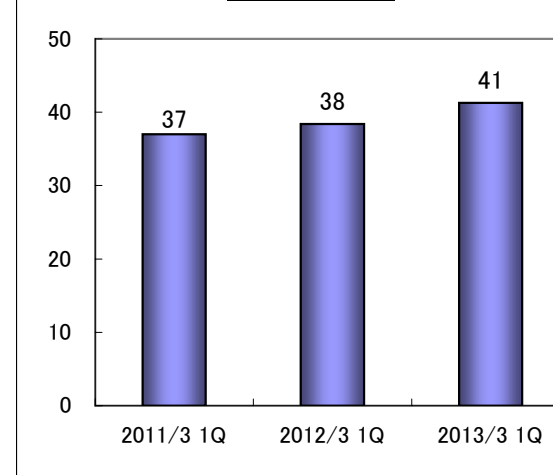
売上高推移



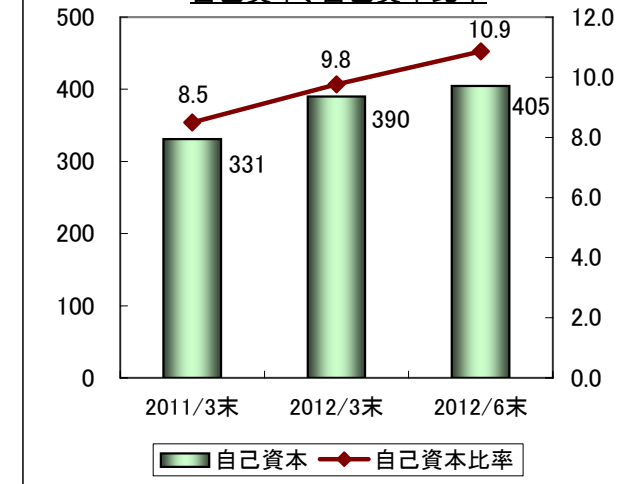
ネット有利子負債、ネットDER



経常利益推移



自己資本、自己資本比率



セグメント情報

(単位:億円)	売上高(外部売上高)			営業利益		
	2012/3期 第1四半期	2013/3期 第1四半期	前年同期比 増減	2012/3期 第1四半期	2013/3期 第1四半期	前年同期比 増減
	電子	573	608	35	18	22
食品・食糧	731	715	△16	15	11	△4
鉄鋼	279	263	△15	10	7	△3
機械・プラント	153	125	△28	△0	2	2
環境・素材	613	666	53	3	2	△1
報告セグメント合計	2,348	2,377	29	46	44	△2
その他(含む調整額)	41	52	11	2	2	1
総合計	2,390	2,430	40	48	46	△1

【電子】増収増益
ICT・モバイルソリューション事業は引き続きスマートフォン市場の好況を受け順調に推移。半導体部品・製造装置事業は、企業の設備投資回復などにより好調に推移。欧州での二輪車載部品等の機構部品事業が堅調に推移。

【食品・食糧】減収減益
畜産事業は、国内需要の低迷により全般的に低調に推移。食品事業は、需給環境が比較的安定し全般的に底堅く推移。食糧事業は海外の穀物市場の高騰等で、厳しい外部環境が続く。

【鉄鋼】減収減益
欧米向けの自動車用特殊鋼取引が堅調に推移する一方で、アジア向け鋼板及び鉄鉱石の出荷は低調に推移。

【機械・プラント】減収増益
工作機械・産業機械関連取引は、国内の需要回復により好調に推移。自動車関連取引は、概ね堅調に推移。プラント関連取引は、プロジェクトが減少したものの収益性は改善。

【環境・素材】増収減益
エネルギー事業は、電力会社向け重油販売の増加を追い風に堅調に推移。医薬品原料・健康食品の輸入取引は堅調に推移。化学品事業は、車載用電池原料の輸出取引がやや低調に推移。

* 本資料に記載されている業績予想ならびに将来に関する記述は、当社が発表日現在入手可能な情報および合理的な仮定に基づいた推測を前提としたものであり、実際の業績は様々な要因により本資料に記載されたものと大きく異なる可能性があることにご留意ください。
* 記載の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値が異なる場合があります。